



JR東労組仙台

East Japan Railway Workers' Union SENDAI
東日本旅客鉄道労働組合仙台地方本部

発行者: 佐々木克之

編集: 情宣部



2024年3月23日 No.71 東北三地本HP

申19号 過去最高の働き度と職責を超えて奮闘する職場の努力に報いる
3月22日 ベースアップの実施と、夏季手当の支給を求める緊急再申し入れ
納得できない理由を訴える！ しかし、会社は**再考せず**！

会社回答以降、本部に寄せられた7000件を
超える声をぶつける！

24春闘
夏季手当

妥結

主な組合の主張

- ✓ 過去最高の働き度で過去最大の格差に反対！押し上げ効果を用いて夏季手当の低水準回答をすることには反対！
- ✓ ある経営幹部が「これだけ賃上げをしたのだから、もらった分は貢献して頂きたい」と述べられたと言われている。コロナ禍を乗り越えて奮闘したのに、馬車馬のように働けという事か！
- ✓ 回答書、参考資料も人材確保のアピールであり対外的で世間体重視の姿勢である！
- ✓ 訴えた職場の声は、現場第一線の経営姿勢を求めているということを受け止めるべきだ！

主な会社の主張

- ✓ 本日の議論を踏まえ変えることはない。**再考の余地はない。最終回答である。**
- ✓ 職責は重要な要素ということから鑑みて**合理的な差である。格差ではない。**
- ✓ **営業収益はコロナ前の9割程度まで回復しているが、利益ベースではそこまで比例して戻っていない。**

24春闘のたたかいを職場からつくり出し、組織強化・拡大の教訓と職場の奮闘と努力を顧みない経営姿勢に立ち向かうことを確認し、妥結を判断

たたかいの成果と課題を明確にし、更なる組織強化・拡大を実現しよう！